



## 福建省福清市で輸入性黄熱患者1名を確診

卫生计生委应急办

www.nhfpc.gov.cn 2016-03-25

来源：来源：福建省卫生计生委网站

福建省衛生計生委は、同市で**2016年03月24日**に輸入性黄熱患者**1名**を確診したと発表した。

患者1は；

福建省福清市人の**42歳**女性鄭\*さんと、アンゴラのルアンダで商売をしていたが、出国前に黄熱のワクチン接種を受けていなかった。

患者は、**2016年03月07日**（北京時間）、患者はルアンダの現地にある病院で黄熱のワクチンを接種した；**03月11日**、発熱と悪寒、関節痛などの症状が現れ；**03月12日**、航空機によりドバイ経由で北京首都国際空港に到着、入国時の赤外線体温測定結果は正常で；**03月13日**、福清市に戻った後；**03月14日**に自ら福州市の伝染病医院にて診察を受けた。**03月18日**、福建省疾病予防管理センター（CDC）が患者の検体を検査した結果、黄熱ウィルスの核酸に陽性反応が現れた。当該患者が福建省初の黄熱疑い患者ということ、また、症状が現れる直前にワクチンを接種していた（下線強調は官本による）ことに鑑み、福建省CDCは間もなく、遺伝子配列の検査、患者が黄熱ウィルスに感染しているか否かの確定をすると同時に、現れている臨床症状が黄熱ワクチン接種による反応なのか否かを排除できるかを確認するために患者の検体を中国CDCに再検査に出した。**03月24日**、中国CDCによる患者サンプルの再検査の結果、黄熱の核酸が陽性となったことと、遺伝子の配列からこの患者が黄熱ウィルスに感染していることが判明した。その後、福建省の衛生計生委の専門家グループが、患者の疫学史や臨床症状、中国CDCの患者サンプルに対する再検査の結果をもとに、当該患者を輸入性黄熱患者と確診した。現在、患者は福州市の伝染病医院で蚊対策のされた場所に隔離治療を受けているが、発熱はなく、精神状態はよい。

疑い症例の報告を受けた後、福建省衛生計生委は直ちに治療、疫学調査、リスク評価、媒介蚊の緊急モニタリング及び愛国衛生運動などの活動を現地ですっかりとできるように体制を作った。リスク評価を経て、専門家たちは、現地にはシマカの分布はなく、また、媒介する蚊の活動期には入っていないことから、今回の輸入患者が感染を拡大するリスクは低いものと認識している。

黄熱は、蚊が媒介する感染疾病であり、主に、シマカに咬まれることにより感染する。黄熱は予防制御が可能であり、ワクチン接種がもっとも重要な予防措置となる。専門家は、黄熱ワクチン接種後**10日**で免疫保護が働くので、人々が黄熱の流行国流行地区に入る**10日**前にはワクチンの接種をすることが必要だと忠告している。アンゴラ等黄熱流行国や地域から帰国した人で、発熱等の症状が現れたら、速やかに医療機構を受診し、医師に対してその渡航歴を告知せねばならない。

<http://www.nhfpc.gov.cn/zhuzhan/dfdt/201603/b48ab2f894494c9c8c0b06956f21b115.shtml>

..... 以下は中国語原文 .....

## 福建省确诊1例输入性黄热病病例

卫生计生委应急办

www.nhfpc.gov.cn 2016-03-25

来源：来源：福建省卫生计生委网站

福建省卫生和计划生育委员会通报，福建省2016年3月24日确诊1例输入性黄热病病例。

患者郑某，女，42岁，福建省福清市人，长期在非洲安哥拉罗安达经商，出国前未接种黄热病疫苗。2016年3月7日（北京时间），患者在罗安达当地医院注射黄热病疫苗；11日，出现发热、寒战、关节疼痛等症状；12日，患者乘飞机经迪拜转机，抵达北京首都国际机场，入境时红外线测温结果体温正常；13日，回到福清市；14日，主动到福州市传染病医院就诊。18日，福建省疾病预防控制中心对患者标本进行检测，结果显示黄热病毒核酸初筛阳性。鉴于该患者为福建省首例疑似黄热病病例，且在出现症状前刚接种过疫苗，福建省疾病预防控制中心立即将标本送中国疾病预防控制中心复核检测，并进行基因测序，以确定患者是否感染黄热病病毒，同时排除其出现的临床症状是否为黄热病疫苗接种反应。24日，中国疾病预防控制中心对患者标本复核检测结果为黄热病核酸阳性，并通过基因测序证实该患者为黄热病毒感染。随后，福建省卫生计生委组织专家组根据患者流行病学史、临床表现和中国疾病预防控制中心对患者标本的复核检测结果，确诊该病例为输入性黄热病病例。目前，患者在福州市传

病医院防蚊隔离治疗，无发热，精神状态尚可。

接到疑似病例报告后，福建省卫生计生委立即组织当地切实做好病例诊治、流行病学调查、风险评估、蚊媒应急监测和爱国卫生运动等工作。专家经风险评估认为，当地无埃及伊蚊分布，尚未进入蚊媒活跃期，此次输入病例引发疫情传播并进一步扩散的风险低。

黄热病属于蚊媒传播疾病，主要通过埃及伊蚊叮咬感染。黄热病可防可控，疫苗接种是最重要的预防措施。专家提醒，黄热病疫苗接种 10 天后产生免疫保护，因此，公众前往黄热病流行国家和地区需要提前 10 天接种黄热病疫苗。从安哥拉等黄热病流行国家和地区回来的群众，如出现发热等症状，应及时到医疗机构就诊并告知医生其旅行史。

20160325A 福建省府福清市で輸入性黄熱患者1名を確診(衛計委応急弁)